

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名: **ソルカット防錆剤**

製品種類: 塗料

使用上の制限: 業務用

会社名: シーカ・ジャパン株式会社

住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F

電話: 03-6434-7291

緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811

SDS No.: 064500043-3

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分に該当しない

自然発火液体: 区分に該当しない

酸化性液体: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性/刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 分類できない

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

誤えん有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 分類できない

水生環境有害性 長期(慢性): 分類できない

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

#### 注意書き

##### 安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。  
取扱い後は手洗い・うがいをする。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。  
環境への放出を避ける。  
容器は密閉しておく。

##### 応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。  
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。  
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。  
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。  
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。  
漏出物を回収する。

##### 保管

施錠して保管する。  
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 : 亜硝酸リチウム水溶液

成分名	含有量(%)	CAS No.
亜硝酸リチウム	20-30	13568-33-7
硝酸リチウム	1-10	7790-69-4
水酸化リチウム一水和物	<0.3	1310-66-3
着色剤	0.001	非公開
水	60-80	7732-18-5

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪い場合、呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡する。  
呼吸が弱かったり、止まっている場合には、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。  
外観に変化が見られたり、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受ける。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
洗眼の際、まぶたを指で開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄すること。  
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐ。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。  
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

最も重要な徴候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

---

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

データなし

不適切な消火剤

データなし

特有の危険有害性

加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。

水溶液であり燃焼しない。

特有の消火方法

消火作業は可能な限り風上から行う。指定の消火剤を使用すること。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。周囲の設備等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業は、適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク、吸気式呼吸用保護具、耐熱性着衣など)を着用する。消火作業は風上より行う。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩現場から関係者以外のものを避難させ、立ち入りを禁止する。管理者に連絡する。

呼吸器用保護具(例 空気呼吸器; JIS T 8155、送気式マスク; JIS T 8153)、不浸透性の保護衣、保護手袋及び長靴、保護眼鏡を使用する。

付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

溝や土手を作って、こぼれた液を堰きとめ、漏出の拡大を防ぐ。こぼれた液や洗浄水を、下水溝、井戸や地表水へ流出、または地下水へ浸透させない。環境に影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

大量に漏出して漏出物が溜まっている場合は、金属容器に封じ込めてポンプで回収する。少量又は表面に広がった漏出液は、不燃性の吸収材(例 砂、土、珪藻土、バーミキュライト)を覆いかぶせて吸収させる。

衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

付着物、廃棄物などは、関連法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

作業に際しては、火花を発生しない安全な工具・ポンプを使用する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

飲用は絶対にしない。経口摂取・吸引すると急性中毒を起こし、極めて危険。

皮膚に接触するとかぶれる場合があるので、取扱いの際は保護メガネ、ゴム手袋、皮膚付着しにくい作業服を着用し、製品が皮膚に付着しないようにする。本製品の付着した保護具・衣類を長時間着用しない。

草木にかかると枯れる場合があり、魚等にも影響があるので、特に漏洩時の対応や廃棄処分する場合は

【漏出時の措置】と【廃棄上の注意】を遵守する。本製品単体および本製品を含有した製品での散布・噴霧（スプレー塗装など）は行わない。

(火災・爆発の防止)

特になし

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

加熱してはならない。

安全取扱注意事項

絶対に、飲み込まないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸収しないこと。

環境への放出を避けること。

目、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

40℃以上、0℃以下となるところに保管しない。0℃以下では結晶が析出する。

業務用であり、子供の手の届かない所に保管する。

容器を密閉して換気の良い場所で保管する。容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。

開封状態での保管。

配合禁忌

酸性物質と接触させると分解してNOX ガスを発生するので、絶対に接触させないようにする。

その他、接触を避ける物質としては、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム

等の酸化性物質、アンモニア塩がある(別紙参照のこと)。

容器包装材料

他の容器に移し替えてはならない。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度: データなし

許容濃度: データなし

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質: 不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体  
色 : 青緑透明  
臭い : 無臭  
融点/凝固点 : データなし  
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし  
可燃性 : データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火点 : データなし  
分解温度 : 185°C(亜硝酸リチウムとして)  
pH : データなし  
粘度 : データなし  
動粘性率 : データなし  
溶解度  
水に対する溶解度 : 亜硝酸リチウムとしては、水、エタノールに易溶  
n-オクタノール/水分配係数 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
密度及び/又は相対密度 : 1.2-1.3g/cm<sup>3</sup> (25°C)  
相対ガス密度(空気=1) : データなし  
粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性  
データなし  
危険有害反応可能性  
データなし  
避けるべき条件  
データなし  
混触危険物質  
データなし  
危険有害な分解生成物  
データなし

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状  
急性毒性  
経口毒性  
(40%亜硝酸リチウム水溶液として) マウス LD50 419.3mg/kg  
経口摂取すると急性中毒を起こし危険。症状としてチアノーゼ、動悸、血圧下降が見られる。  
当該製品は40%亜硝酸リチウム水溶液の水希釈品であることから同様と考えられる。  
吸入毒性 : データなし  
経皮毒性 : データなし  
局所効果  
皮膚腐食性/刺激性成分データ  
(硝酸リチウム) 接触により、刺激及び炎症を起こすとの記述がある。(HSFS, 2008)  
眼損傷性/刺激性成分データ  
(硝酸リチウム) 接触により、刺激、火傷及び炎症を起こすとの記述がある。(HSFS, 2008)  
感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 :データなし

発がん性 :データなし

生殖毒性

本物質のデータはないが、リチウムを治療目的で摂取していた226名の妊婦に25名の先天性奇形を生じた。妊婦の可能性のある女性に対してリチウムは禁忌になっている。(ACGIH, 2001)

また、リチウムは、“Chemically Induced Birth Defects”(Birth Defects 3<sup>rd</sup>, 2000)で催奇形性物質としてあげられており、“Catalog of Teratogenic Agents”(Teratogenic 12<sup>th</sup>, 2007)でもリチウム服用の妊婦において心臓奇形の出産報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることにより区分1Aとした。

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データがなく、分類できない。吸入により呼吸器、消化器及び中枢神経への影響がみられるとの記述がある。(HSFS, 2008, SITTIG 5<sup>th</sup>, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データ不足で分類できない。なお、ラットを用いた7週間経口投与試験において、ガイダンスの区分2に相当する119mg/kg/日の容量(90日換算83.3mg/kg/日)で赤血球減少、白血球増加及び高血糖が確認され、ラットを用いた4週間経口投与試験のガイダンスの区分2に相当する238mg/kg/日の用量(90日換算74.4mg/kg/日)で血液及び肝および腎組織中の酵素活性の抑制又は誘導、腎組織の変化が確認されたとの記述がある。(いずれもRTECS, 2007)

誤えん有害性 :データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性 :データなし

水溶解度 :データなし

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

---

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

---

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

該当しない

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

水酸化リチウム－水和物

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

水酸化リチウム－水和物

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

---

## 16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上